



特集 10周年目記念!! ふおれすと鉾山のこれまで・いま・これから
その①これまでの足跡(前編)
リレーコラム

Photo by ふおれすと鉾山

今年度開始のおすすめイベント情報
MJdays花ある紀/ふおれぼらこら
スタッフコラム/カウンターの裏側からこんにちは
KOUZAN EVENTS / KOUZAN INFORMATION

34 jul. 2011

鉾山こうざんろく録

登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉾山」ニュースレター

発行：特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ
〒059-0021 登別市鉾山町8-3 登別市ネイチャーセンターふおれすと鉾山
TEL/ 0143-85-2569 FAX/ 0143-81-5808
E-mail: kouzan@npo-momonga.org URL: <http://npo-momonga.org/>

10周年目記念!!

その①これまでの足跡(前編)

ふおれすと鉱山のこれまで・いま・これから

平成14年(2002年)4月に登別市の社会教育施設として、登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」がオープン。同年9月には、開館準備段階から積極的に関わってきたボランティアメンバーが中心となり任意団体「モモンガくらぶ」を設立(2005年にNPO法人格取得、現在「ふおれすと鉱山」指定管理者)。

今年度の「鉱山録」では、10周年目に突入したふおれすと鉱山&モモンガくらぶの過去・現在・未来について、特集していきます。

まずは、『これまでの足跡(前編)』ということで、開設当初~2006年の記憶・記録をひも解いてみたいと思います。

~巻頭言~

モモンガくらぶは2002年にふおれすと鉱山活動支援を目的に誕生しました。当時40名程度の会員でスタートしました。そして早10年目を迎えています。

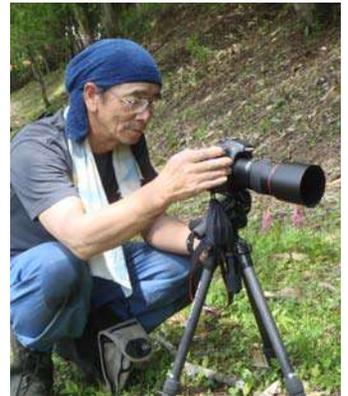
この間、多くの皆さんがボランティアとしてここに結集し、すてきな足跡を残しています。そうした中、5年間任意団体として大いにふおれすと鉱山に貢献し、様々な実績を積み上げてきました。特記すべきことは人材育成事業があり、KoNG(コーザンネイチャーガイド)講座は今年で8回の開催、認定者はモモンガの根幹をなして活躍しています。また、チーム制度はモモンガくらぶの大きな組織運営の特徴で、ふおれすと鉱山の活動を支えています。そして2007年、皆様の思いがNPOへと、指定管理へとつながっていきました。

今後もあの当時の「楽しく、みんなで」を忘れることなく、組織的にも、個人的にも進化し、次の時代につなげていきたいと考えています。

これからも皆さんのパワーを大いに発揮していただき、モモンガくらぶをますます楽しい組織にしていきたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

2011年7月1日

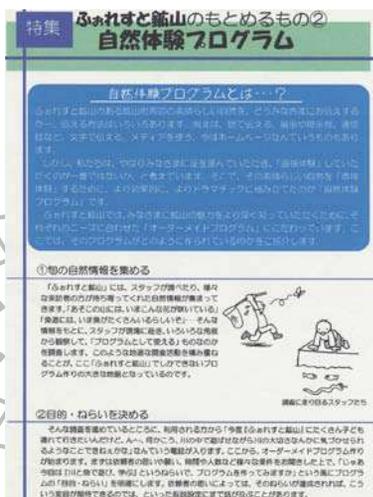
NPO法人モモンガくらぶ理事長 松原條一
ふおれすと鉱山 センター長



鉱山録を振り返ってみよう



記念すべき第1号
最初のこの表紙はイラストだったんですね。
📖(vol.1 July.2002)



ふおれすと鉱山が大切にしている
「オーダーメイドの自然体験プログラム」。
現在も受け継ぎ、行っています。
📖(vol.2 sep.2002)



ふおれすと鉱山の現役スタッフ「えんめく」の連載コラム。開館当初からスタッフということば、今年で何年目??
📖(vol.4 apr.2003)

ふおれすと鉱山10周年を迎えて

オープン前から今日までずっとふおれすと鉱山を見つめてきた小川さんに当時のことをインタビュー形式でお聞きしました。

Q. ふおれすと鉱山のオープンまでの経緯を教えてください。

A. 普通の市民が主体となった町づくり会議「いきいき人と町推進会議」の部会の1つに「人と自然との共生」をテーマとする、鉱山地区の利活用を話し合う部会がありました。この部会では鉱山地区の自然を活用し、未来を担う子どもたちに自然環境の大切さを学んでもらい、動植物の観察や自然体験などを通して生きる力を育むために、自然体験活動の拠点となる施設としてネイチャーセンターの建設を提言しました。これが平成6年です。建物は、鉱山町にある旧鉱山小中学校を利用した市民研修センターを活用し、また、市は自然体験の指導などのノウハウを持たないので専門家（NPO法人）へのセンターの運営や展示設計などを業務委託することとしました。そして、維持管理を市が、活動プログラムや展示などの業務は専門NPOが、センターの運営活動の支援は多くのボランティアが担うかたちで平成14年度にふおれすと鉱山はオープンしました。

Q. オープンしてからはいかがでしたか？

A. 当初から、市内の小学校の宿泊学習と主催プログラムを展開していましたが、職員の数では明らかに足りなかったんです。そこで、設立前の市民懇話会の頃から関わっていたボーイスカウトなどの団体に、オープン後も継続して関わっていただき、自然体験活動のサポートをしてもらいました。その方々が中心となり、今の“NPO法人モモンガくらぶ”の前身となるふおれすと鉱山での活動を支援する団体としてモモンガくらぶが作られて、当時から今もずっと関わっていただいているボランティアも多くいるんです。

Q. オープンから多くの人に関わる“ふおれすと鉱山”、どのような点に驚きましたか？

A. 当時の主だったプログラムは川遊びやキャンプなどで、プログラムや子どもたちへの対応、サービスなど行政としては思いつかないような作り方ですごいと思いました。そして利用者に対して、こちらから決まったプログラムを提供するのではなく、事前に打合せをして内容を決めるオーダーメイドプログラムの方法も手間はかかるが楽しいものができるなと感じました。

Q. 10年前のふおれすと鉱山と今のふおれすと鉱山、変わらない点は？

A. 変わらずずっとふおれすと鉱山に関わってくれているボランティアの人はいますね。後は、教員の長期研修ですね。ここ（ふおれすと鉱山）で1年間研修を行うんですが、意識とか学校に戻って変わったんじゃないかな。

Q. では、10年前と今のふおれすと鉱山、変わった点は？

A. ほとんど変わった気がしますね。子育て支援とか色々なことをやるようになったところかな。できた当時は、何するの？足（交通手段）がないところなのに人来るの？って正直疑問だったのですが、今ではこんなに多くの人でにぎわっていますね。あとは、関わるボランティアがどんどん代わっていることですね。当時は若いお母さん世代はほとんどいなかったですね。

Q. これからのふおれすと鉱山はどのようになってほしいと思いますか？

A. 多くの人を利用して楽しんでもらえるように、これからも常に変わり続けてほしいですね。



小川邦夫（NPO法人モモンガくらぶ会員）

市職員として、ふおれすと鉱山設立当初から関わる。鉱山録においては、「小川邦夫的鉱山案内」をvol. 1からvol. 12まで連載。市役所退職後の現在は、指定管理を受けているNPO法人モモンガくらぶの会員という立場からふおれすと鉱山の活動に携わっている。

今年度スタートした新規イベント情報

イベントの詳細はHPからもチェックできます。詳細はお問い合わせください。
<http://npo-momonga.org/>

1 山の学校

★実施日：毎月1回日曜日
★対象：小学4年生～中学1年生

毎回子どもたちがみんなで話し合っ、遊ぶ内容を決めます。

クライミングボード、マウンテンバイクなどなど
鉾山で思いっきり遊んで、遊びのプロフェッショナルをめざします。



2 カジカの学校

★実施日：9月24日までの全6回

★対象：大人

(年間登録制)

※各回参加も可

幌別川をフィールドに、水質・植生調査、沢登り、デイキャンプ、リスクマネジメント講習などを通して、川と森と人とのつながりを学びます。



3 季節イベント

★実施日：昭和の日、海の日、敬老の日
クリスマス(12/23)、ひなまつり

★対象：どなたでも

季節の行事×ふおれすと鉾山らしさ。

7月18日の「海の日」には、“水の日イベント”と

して、かっぱかっぱ広場(川遊び)・清流じゃぶじゃぶ(リバートレッキング)あそびなど、鉾山ならではの水遊びを展開します。



毎年恒例のイベントももちろんありますよ。

★スペシャルウィーク・夏

8月5日(金)～7日(日)
夏の遊び・水遊びがいっぱいの3日間。

★ふおれすと鉾山&モモンガくらぶ設立10周年目セレモニー

8月6日(土)
10年目を記念してのお祝いと、新しく完成したログハウスのお祝いをします。

★第3回鉾山町夏祭り

8月13日(日)
復活した鉾山町の地域のお祭り。盆踊り・出店もあるよ。

★鉾山大同窓会

9月10日(土)
かつての鉾山に想いを馳せます。

★コーザン・グリーンレース2011

9月25日(日)
鉾山の森の中を駆け抜けます。

★木と森の遊び場

9月31日(金)～10月2日(日)
館内が木のおもちゃであふれかえります。

ジガバチソウ（ラン科）

このちょっと変わった種名は、花の姿がアナバチ科の胴体部分が極端に細いジガバチに似ていることに由来するそうです。

ラン科はそれぞれ変わった花型を持つものばかりでとても興味深いものです。花色も様々で派手な色合いから超地味な色まであります。その生態も独特のものが多く、地下にはバルブ（偽茎）をもち、おしべとめしべは一つになり合着しています。菌類に栄養を供給され発芽し成長します。ちなみにラン科は被子植物の中で一番遅く地球上に発生したといわれ、そのため、すでに存在していた植物との競争に勝たなければ種の保存はままならない、わがままはなし、過酷な条件下でも生きていけるような進化をしてきました。樹上だったり、岩場だったり、コケの上だったり。

このジガバチソウは緑地に茶色のストライプが入ったものから緑単色のものまであります。大きさには個体差がありますが、10センチに満たないものから20センチを超えるものまで。

鉱山地区における生育環境はやや暗い落葉樹林や岩場などで細々と生きています。

ジガバチソウの他にクモキリソウ、エゾノクモキリソウなど類似のランがあります。

とにかく、目立たない、個体数が少ない、などで出会う機会は少ないと思いますが、その姿を目にしたときは感動ものです。



2011年6月記
松原條一

MJ days

花ある紀

受付嬢山ぴいの

カウンターの裏側から

こんにちは

せみが競い合うように鳴いています。今年もまた暑い季節がやってきましたね。

この鉱山録ができあがる頃には、最新のログハウスも完成しているのではないのでしょうか。実はこのログハウスには“バルコニー”があります。このバルコニーがさいこう!です。

この夏はぜひ!このログハウスを見て、利用して、それ以外でもたのしんで、色々なじぶんスタイルの鉱山流夏の過ごし方を実践して下さいね。

イラスト・文:山ぴいこと山田悠香



みなさん、はじめまして！4月からモモンガくらのスタッフになりました、野口なつ子です。あだ名は“なっつ”です。突然ですが、なっつってどんな人間かを図鑑風で紹介させていただきます。

野口なつ子Noguchi Natsuko ヒト科

体長162cm、体重は未だ不明。現在22歳。2011年3月までは神奈川県に生息していたが、同年4月から北海道へ移動。主な行動圏は、幌別、東室蘭、苫小牧であるが、ときより札幌でも見られることがある。特徴はネコのようにつりあがった目とそばかす。目がネコやキツネに似ているため、時には電車で知らない子どもに指をさされて「キツネ」と言われることもある。食性はおつまみ食傾向の強い雑食性で、主にこんぶやスルメ、豆を食べる。

ねぐらは幌別駅近辺のため、電車が通るたびに揺れを感じる。

ということで今年の3月に大学卒業後、こちらに引越してきました。一人暮らしなど初めての体験が多く、すべてが新鮮に感じます。なかでも、植物との出会いはとても新鮮です。北海道で初めてみる植物や違う角度から植物を見ることで新しい出会いや気付きがあり、植物からたくさんの幸せをもらっています。これから多くのことを吸収して、一日でも早く“自分らしさ”を発揮できたらよいと思っています。

みなさん、どうぞよろしくお願ひ致します。



illustration by Yama-P

すたっふ、こらむ special

はじめまして。ふおれすと鉦山では貴重(!?)な登別出身のスタッフ・東谷美優(あずまやみゆ)です。北海道教育大学釧路校を卒業し、今年晴れてふおれすと鉦山スタッフとして地元へ舞い戻ってきました。小・中学生の頃にサマーキャンプや職業体験などで参加者としてお世話になっていたふおれすと鉦山。今度はスタッフとしてお世話になるということで、緊張しながらも意気込んでいます。物事を器用にこなせるほうではないため時間はかかるかもしれませんが、ふおれすと鉦山や登別を活気づける一員となることを目指して頑張っていきたいと思ひます。

また、“自然と人、人と人をつなぐ仲介人”になることも目標の一つです。これは、今年卒業した北海道教育大学釧路校で環境教育と出会ったことがきっかけでした。「自然が好き」という気持ちだけでネイチャーガイドという仕事に興味を持った私に、ネイチャーガイドを目指す確固たる理由を与えてくれた環境教育をいつかは自分自身で実践しようと思ひながら、今は構想を膨らませています。



どんなことにも面白みを見つけ出し、夢中になって楽しむことができるので、キノコ、妖怪、星座、料理、民族文化…と挙げきれないくらい様々な物に興味があります！知らなかったことを知って体験することも好きです！ですので、私を見つけた際には是非、いっぱい皆さんのお話を聞かせてください。そして、一緒にたくさんの事をしたいです。私もみなさんに自分が見聞き、体験したことで面白いことがあればドンドンお話ししていきます。

最後に、今後の抱負としまして…

「日々学び、日々楽しんでいきます!!!」

7月

- | | | |
|----------------|-------------------|------------------|
| 〔2日〕 カジカの学校③ | 〔14日〕 森のサロン③ | 〔22日〕 たまアウ② |
| 〔3日〕 KoNG養成講座③ | 〔16日〕 ながづつレンジャー③ | 〔23日〕 里山づくり③ |
| 〔6日〕 森ちょこっ⑧ | 〔16-17日〕 わんぱくキャンプ | 〔23-24日〕 森子くらぶ③ |
| 〔8日〕 mamaサロ③ | 〔17日〕 森のようちえん③ | 〔24日〕 カジカの学校④ |
| 〔10日〕 山の学校④ | 〔17日〕 里山マイスター④ | 〔27日〕 こうざん調査隊③ |
| 〔10日〕 木の学校 | 〔18日〕 水の日イベント | 〔24日〕 森ちょこっ⑪ |
| 〔13日〕 森ちょこっ⑨ | 〔20日〕 森ちょこっ⑩ | 〔29-31日〕 中学生キャンプ |
| | 〔21日〕 ガイドウォーク⑥ | 〔31日〕 父と子の日① |

8月

- | | | |
|-------------------|---------------------|-----------------|
| 〔1-4日〕 まるごと体験スクール | 〔20-21日〕 ながづつレンジャー④ | 〔25日〕 ガイドウォーク⑦ |
| 〔5-7日〕 スペシャルウィーク | 〔21日〕 森のようちえん④ | 〔27日〕 里山づくり④ |
| 〔12日〕 たまアウ③ | 〔21日〕 里山マイスター⑤ | 〔27日〕 森子くらぶ④ |
| 〔13日〕 鉱山町夏祭り | 〔21日〕 木の学校 | 〔28日〕 KoNG養成講座④ |
| 〔14日〕 山の学校⑤ | 〔23日〕 森のサロン④ | 〔28日〕 カジカの学校⑤ |
| | | 〔31日〕 こうざん調査隊④ |

9月

- | | | |
|----------------|---------------------|--------------------|
| 〔4日〕 KoNG養成講座⑤ | 〔14日〕 森ちょこっ⑬ | 〔21日〕 森ちょこっ⑭ |
| 〔6日〕 森のサロン⑤ | 〔15日〕 ガイドウォーク⑧ | 〔23日〕 猛きん渡り調査 |
| 〔7日〕 森ちょこっ⑫ | 〔17日〕 ながづつレンジャー⑤ | 〔24日〕 里山づくり⑤ |
| 〔9日〕 mamaサロ④ | 〔18日〕 森のようちえん⑤ | 〔24日〕 カジカの学校⑥ |
| 〔10日〕 鉱山大同窓会 | 〔18日〕 木の学校 | 〔25日〕 コーザン・グリーンレース |
| 〔11日〕 山の学校⑥ | 〔18-19日〕 子ども自然博士講座② | 〔28日〕 森ちょこっ⑮ |
| 〔11日〕 森子くらぶ⑤ | 〔19日〕 敬老の日イベント | 〔28日〕 こうざん調査隊⑤ |
| | 〔19日〕 つな環 | 〔31-10月2日〕 木と森の遊び場 |

最新情報はこちら! → <http://npo-momonga.org/>

■ KOUZAN INFORMATION

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館 9:00~17:30 入館料 無料

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります)、年末年始

※7月、8月は休館日なし

■ 宿泊料 チェックイン 14:00~
チェックアウト ~11:00

大人	1人	1,800円
高校生	1人	1,200円
小・中学生	1人	500円
幼児(4歳以上)	1人	200円

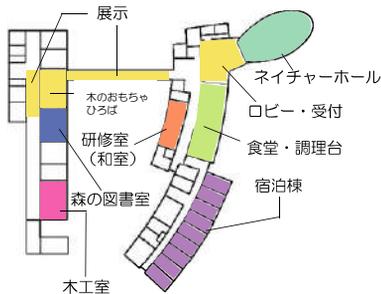
※3歳以下は無料

テント1張 1泊 500円

暖房費 1人1泊 100円(暖房使用時にいただきます)

■ 備品貸出など

MTB(1台) 1時間100円	和室9:00~12:00 500円	ホール9:00~12:00 1,000円
調理台(1台) 1時間100円	13:00~17:30 700円	13:00~17:30 1,500円
	9:00~17:30 1,200円	9:00~17:30 2,000円



(12月31日~1月5日)



鉱山録

EDITOR'S LOUNGE

平成14年にオープンしたふおれすと鉱山も今年度で10年目を向かえました。この1年間は「鉱山録」を通して、「これまで」のふおれすと鉱山、「今」のふおれすと鉱山、そして「これから」のふおれすと鉱山を伝えていければいいかなと考えています。お楽しみに! (つ)

登別市ネイチャーセンターニュースレター「鉱山録」 Vol.34

発行: 2011年7月

発行者: 松原條一

編集者: 土屋俊幸

発行所: 〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号: 0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail: kouzan@npo-momonga.org

URL: <http://npo-momonga.org/>